













腹腔鏡下大腸切除術を受けられる患者様へ(2日前入院)

<予定入院期間 13日間> 1枚目(全2枚)

日数	入院日	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3~10日目
			手術前	手術後			
治療・処置		臍をきれいにします。静脈血栓予防の靴下のサイズを測定します。		酸素マスク、心電図モニター、フットポンプを装着します。 	毎朝、医師の回診時、手術創の状態を確認し、必要時消毒をします。		術後4日目以降で腹部の管を抜きます。 
薬・点滴		禁食になるため、点滴が始まります。  下剤を内服することがあります。	基本的に内服は中止ですが、必要のある薬がある場合はお知らせします。	硬膜外麻酔が背中から入っています。痛みが強い場合は痛み止めを使用します。 夜間、眠れるように環境調整をします。必要時、薬剤検討します。		痛み止めの内服・整腸剤の内服が始まります。	食事摂取状況で、点滴終了となります。  術後3日目：内服の鎮痛剤に変更します。
検査			朝に採血を行います。		朝に採血と朝にレントゲン撮影があります。 		必要に応じて、採血や検査があります。
安静度	制限はありません。		手術室へ行く前に排尿を済ませておいてください。手術室に行く時間になりましたら声をお掛けします。看護師と一緒に手術室まで歩いて入室します。 	手術後はベッド上安静になります。寝返りはできません。	医師指示にて歩行可能です。初回は看護師が付添います。	制限はありません。 	
食事	制限はありません。	医師指示にて禁食となります。 	禁食です。	飲食はできません。うがいのみできます。			重湯から食事が始まり、徐々に普通食になっていきます。
		禁食中でも水やお茶は飲めます。	飲水に関しては、医師より指示があります。			医師指示あれば、水分摂取できます。	
清潔	制限はありません。 	シャワーを浴びてください。 	看護師が声をかけますので朝、シャワーを浴びてください。その後手術着、静脈血栓予防の靴下とT字帯を着用してください。		温タオルで体を拭き、手術着からパジャマに着替えてもらいます。 	適宜、清拭のお手伝いをします。	医師の許可があってから、シャワー浴が行えます。 
排泄	制限はありません。		手術室入室前にトイレを済ませてください。	手術中より尿を出す管が入っています。			状態を確認して尿の管を抜きます。その後は歩いてトイレに行ってください。抜いて初めての排尿は、測定しますので看護師に声をかけてください。
説明			貴重品の管理は、セーフティボックスをご利用ください。				退院後の注意点について説明があります。
その他		持参されたお薬の内容や残数を確認します。ネームバンドをつけさせていただきます。	手術室入室前に義歯、コンタクトレンズ、ウィッグ、アクセサリーをはずしておいてください。				退院後は便がゆるくなりがちです。油の多い食事は多くとらないようにしてください。

上記と異なる場合はその都度お伝えします